

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	千曲川ハーフマラソンの開催
事業主体 (連絡先)	千曲川ハーフマラソン実行委員会 (実行委員会事務局：026-276-1731 千曲市スポーツ振興課内)
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	19,550,241 円 (うち支援金：2,100,000 円)

事業内容

成人を対象にした「ハーフマラソン」を開催しました。

ランナーのエントリーは総数 2,491 名、また、大会をさ
さえてくださるボランティアの方は約 400 名の参加。

昨年リニューアルした「白鳥園」をスタート・フィニッ
シュにして、千曲市の観光資源をアピールしました。

天候にも恵まれ、ランナーは早春の千曲川 RUN を楽し
みました。



【大正橋 RUN】

【目標・ねらい】

- ①「交流人口の増加」を目指す。
- ②市民の「健康づくり」を目指す。
- ③「協働のまちづくり」を目指す。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・大会参加者が増加し(500名増)市のPRと、交流人口の効果が期待できる。
- ・ボランティアの参加も増加し(昨年約350名、今年約400名)「協働」の考え方の推進が期待できる。
- ・特別番組(NBS)を製作、放映し、あんずの観光シーズンを前に、市の観光アピールができた。
- ・当市の温泉をアピールするため、無料の「温泉企画」を行い、1,524名の利用がありリピートを期待します。
- ・福祉団体の参加があり、障がい者の「支えるスポーツ」参加が実現できた。

※自己評価【B】

【理由】

今後も更に良い大会を目指しますが、2千人を超える方に来訪いただけたのは、有難いことです。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・大会参加者が更に増えるよう、魅力ある大会をめざし、企画をすすめます。
- ・ボランティアも大会に興味を持つよう、「ボランティア通信」などで情報提供を行います。
- ・大会の広報活動を積極的に行い、県外からの来訪者が増えるよう計画します。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある